

アート部誌

2009. 7. 18.



もくじ



テーマ 題 → 学園モ / *

作者名	中村 (全1頁)	2
	石田 (全1頁)	3
	朔羅 (全3頁)	4
	うめぼし (全1頁)	7
	尾藤 (全1頁)	8
	木幡 (全2頁)	9
	智川巴 (全7頁)	11
	各自おとかし (全6頁)	18
	あとかし	23



作: 木幡

※ 当本内の物語はフィクションです。

実在の人物、団体、出来事とは一切関係ありません。

また、版權を扱った作品に関して、

作者様方とは一切関係ありません。

2009. 7. 18. アニメ部





「春の訪れ」

昔から桜が好きだった。

満開に咲いた桜と空の色のまざりぐあい。散ってゆく桜のはかなさ。

だから校門から玄関まで桜が咲いているこの学校を選んだ。

なのに、よりによって今日、寝坊するなんて！！

こんなに人が多くちゃ、桜を見ながらのんびり歩くこともできやしない…。

「きゃっ」

考えごとをしながら歩いているから、何もないところで転んでいた。

またやっちゃった…。友希にもよく言われてるのに…。

えっ！？見られてた？

顔をあげたとき、一人の男の子と目が合った。

あれは確か同じクラスの旭くんだ。

ただじっと黙ってみられているから、瞳がそらせなかった。

恥ずかしくて、早くここから去っていきたいのに、何故かできなかった。

気づいたら胸はドキドキと大きくなっていて、他に人に聞かれてはいまいか心配になった。

私は何でこんなことをしているの？

こんなトコを見られているのに、私は何で、彼を見つめているの？

でも目をそらすなんてしたくない。

この時間がとても大切なもののように感じる。

一瞬、何も考えられなくなった。

気がつけば彼は私から、目をそらし、人混みにまぎれ行ってしまった。

私は座り込んだまま、さっきまで旭くんがいた場所を見つめていた。

キーン、コーン、カーン、コーン。

遠くからチャイムがなる音が聞こえた。

私は慌てて立ち上がり、ひかれるような想いで立ち去った。

「心は満ちて」

あの日から一ヶ月くらいがたった。

気がつけばいつも旭くんを見てるようになった。

私は何でこんなに彼のことが気になるんだろう。

今もまた、クラスメートと無邪気に笑う彼のことを見ていた。

「人の気なんて知らないで無邪気に笑って」

「亜由美は、いつも誰のことを見ているのかな？」

上から突然、声が降ってきた。

「友希、驚かさないでよ」

見上げたら、そこにいたのは親友の友希だった。

「ぼーっとしてる亜由美がいけないんじゃない」

友希は悪びれる様子もなく答える。

「あたしはずっとここにいたよ」

「うそ！？ずっと？」聞かれていた？

「そう。ずっとね。それで、亜由美は…」

その時、ひときわ大きな笑い声が聞こえてきた。旭くんだ。

慌てるようにその方向を見た。

「亜由美が見ているのは旭か」

「友希っ」

図星を言われて、恥ずかしくなって慌ててしまう。

「図星なんだね」

「うん、何でこんなに気になるのかな」

「それって、好きだからじゃない？」

「えっ！？」好き？私が？旭くんを？

これが好きっていう気持ち？これが恋？

ずっともやもやしてたのに、名前がついたら急に透明になってはっきりとした形になった。

「私は旭くんのことが好き？好き」

そう、好きなんだ。

「夏の終わり」

好きって気持ちを自覚してから三ヶ月。

毎日、気持ちは募るばかりだった。

はあー、とため息がまた一つこぼれおちる。

「どうしたの？最近ため息ばかりついてるんじゃない？」

「友希、最近何だかつらいんだ」

「つらい？どうして？」

「わからないよ。好きだから？」

「だったら告白してみればいいんじゃない？すっきりするかもよ」

「うん。そうだね。してみようかな。いつがいいかな？」

「知ってる？学祭最終日の花火打ち上げの時って成功しやすいって噂あるの」

「じゃあ、その時にしようかな？」

Dear 旭くん

学祭の花火の打ち上げの時

校舎裏まで来てください

とうとう、その日がやってきた。

昨日の夜はドキドキして眠れなかった。

告白を決めてから付き合いたいって思うようになった。

ヒュー、ドッカーン。

まだ、旭くんは来ない。

後ろから足音が聞こえてきた。

振りかえると旭くんがいた。

今までだって十分ドキドキしていた。

なのに今、比べられないほどドキドキしてる。

旭くんは私の目の前で立ち止まった。

「あの…、好きです」

一言、いうのがやっとだった。



SOS団に
入部しなさい!!

涼宮 ハルヒ
の
憂鬱



School Life!

知識をたのむ
愛を知れ!



silent storm

いつだって、
空は空かたの

それでも、
やていほ



ガラスのコップ
智川 巴

人間とガラスは
どちらが強いのか

時々
考えていた



ガラスは落ちると
簡単に
割れてしまった



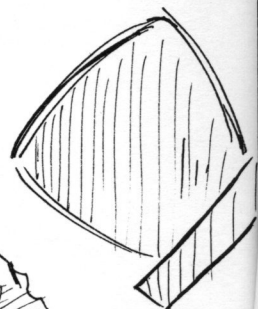
ガッ



人間は簡単に
傷ついた



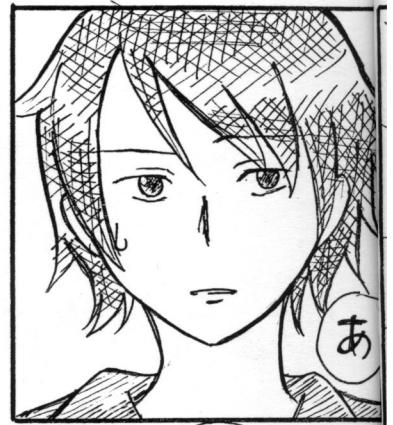
人間の方が
弱いはずなのに

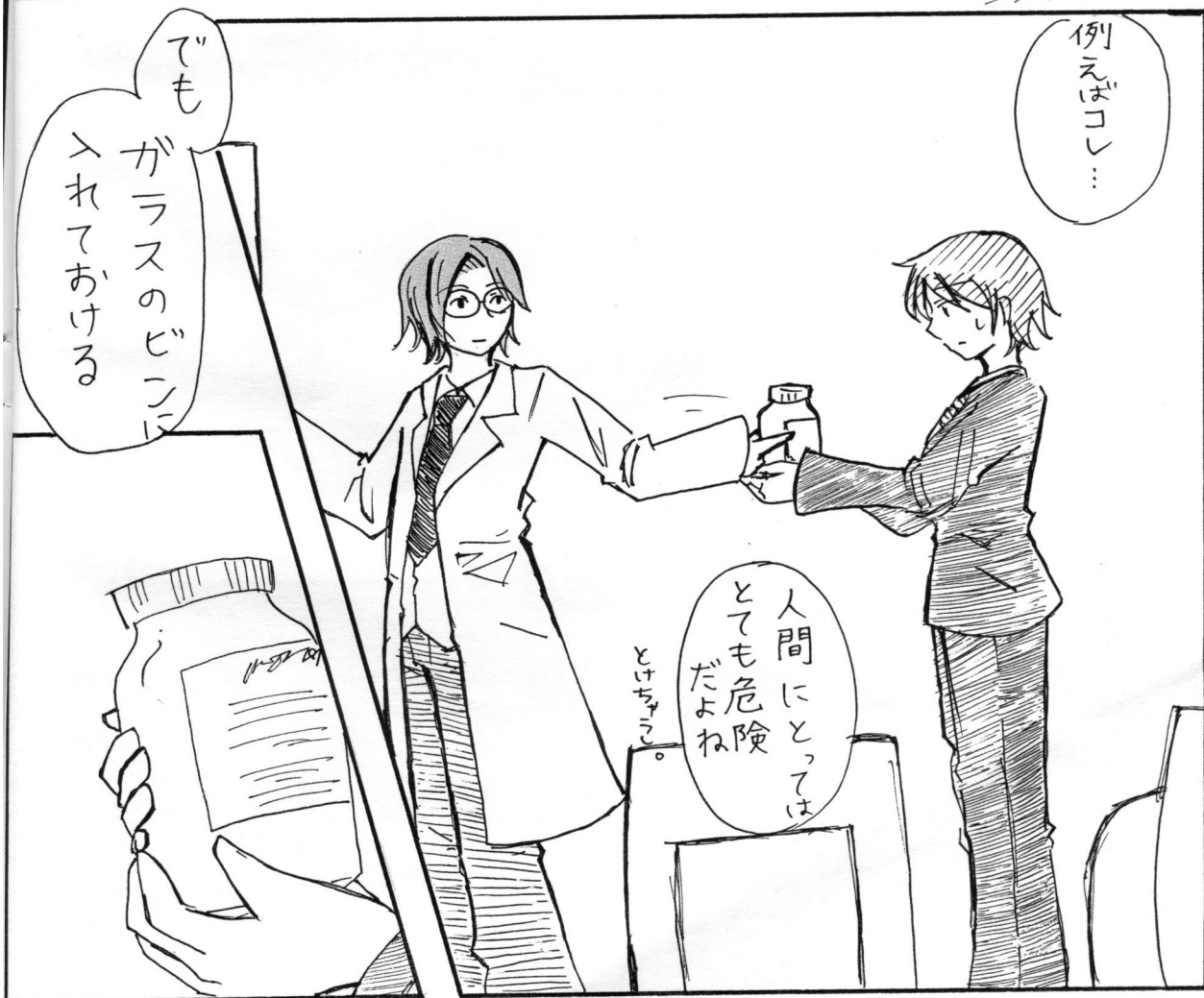


僕はなぜか
壊れられなかった











でもね
先生は



直すからだよ

ガラスは壊れたか
直らないでしょ？



人間ってとても
強いなあ
と思うよ



それは…
どうして
ですか？

そっか
だから



人間って他の
人間のことも
許してあげれるんだ

ガラスより
強くなるかは

君しだいだよ



END

あとがき

元→無限に広がる大宇宙! 部誌初参加の新入部員中村です。

元ネタへおき方神

学へ描きましたー。わかる方いらっしゃるだろうか?

わかる方はぜひご連絡下さい(←) 仲間ですよ(°o°)ノ

資料がなくて服とかテキトーです。サーセンwww

テーマが"学園"なのに制服しかあってないというorz

色々初めてなので、おかしいところ色々ありますが、スルーして下さい



次回もがんばります

ごめ ンシ

中村



アトガキ☆

こんにちは、1年の石田です^^*

今回は、ボカロの学バロです(14*)

他の方の足元にも及ばないですが...^^;←

今後は画力を上げるのが課題ですね...orz

あまり部活には顔出せないのですが、

これから頑張りたいです...◇◇

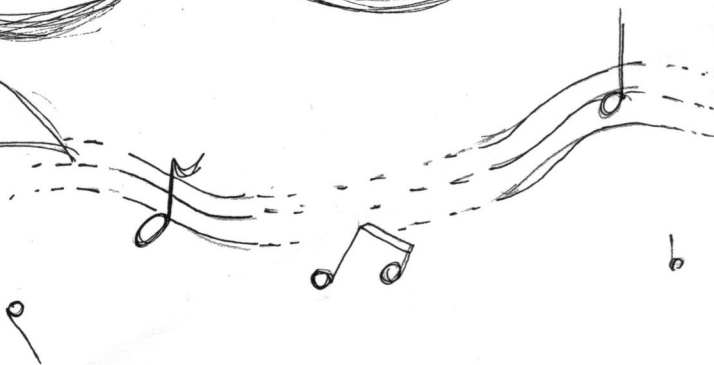
というわけで、ニコニコ動画とボカロ回

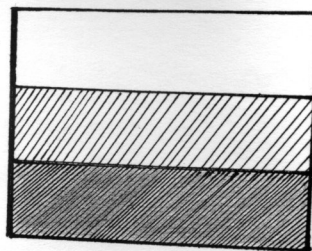
が好きな方!!!連絡きぼんぬ!!←死

はい、希望してますww

自重できなくてさーせん★←

な、石田でしたノシ





Rossiyskaja
Federacija

* へたりあとがき *

初めて今日和。今回初めての部誌発行と

いうことで、何を描こうかと迷ったりもしましたが、
楽しく描かせていただきました。「学園」で描ける
ものがハルヒしか思いつきませんでした(汗)

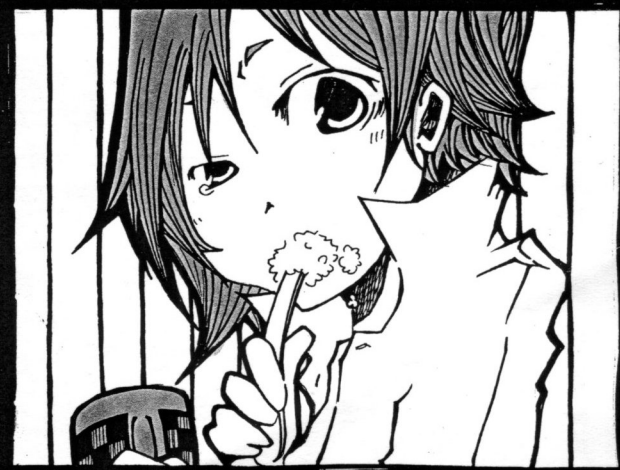
APHは良いですね、あとがきにしてみました。
もしあとがきてす(笑) 最近「ドイツ」が気になり
初めてます、ちなみにロシア初描きだったリッ。

でね、ここまで「ありがとうござ」いました。
次も頑張って描こう!! へたりア愛!! ←

あとがき。

今年度初の部誌です！しかし諸事情で原稿を2ページ分だけ上げられませんでした...orz かなり悔しいですが、このページに全てを語りました！！ テーマが“学園モノ”ということで舞台は南商でした（本当は版權の学プロも描きたかった←）

木幡。



姉と妹。

智川 巴

★あとかき。

さて このページは全部筆ペンで
描いております! あとかきは
普通のペンですが…。

マンガは楽しんでいただけただろうか。

時間が足りず テキトウになってしまい
申し訳ないです? ↓



→ ええと、このイラストのテーマですが、優秀な姉(大学)と不良な妹です。
では、また次回も頑張りますので、ぜひご覧下さい!! お楽しみに!

のアトガキ

(全体の)

今回の部誌はいかがだったでしょうか？

みんな楽しく描けたので良かったと思います。

これを読んだみなさんも、楽しい気分

になって下さったらうれしいです。

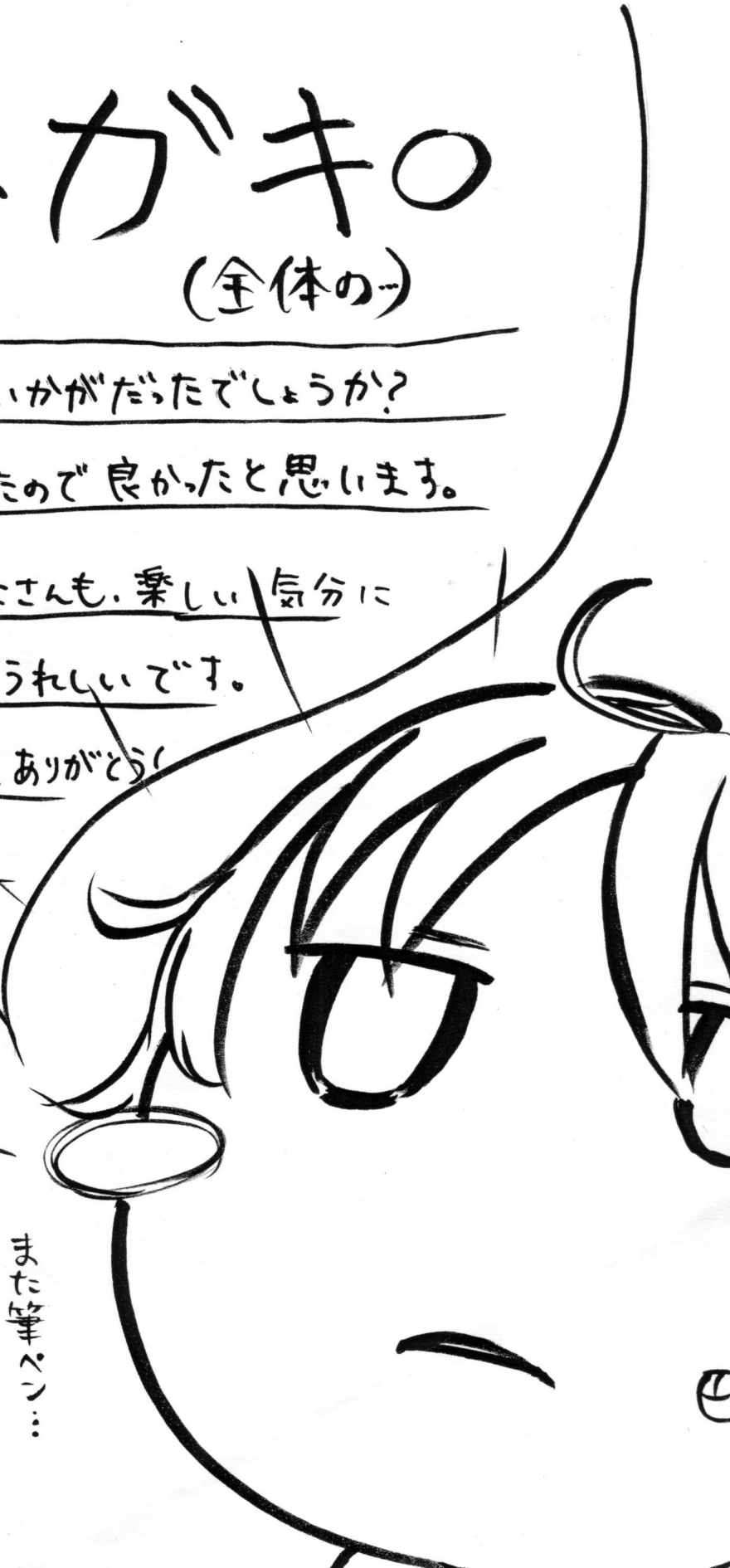
ここまで読んで下さってありがとうございます。

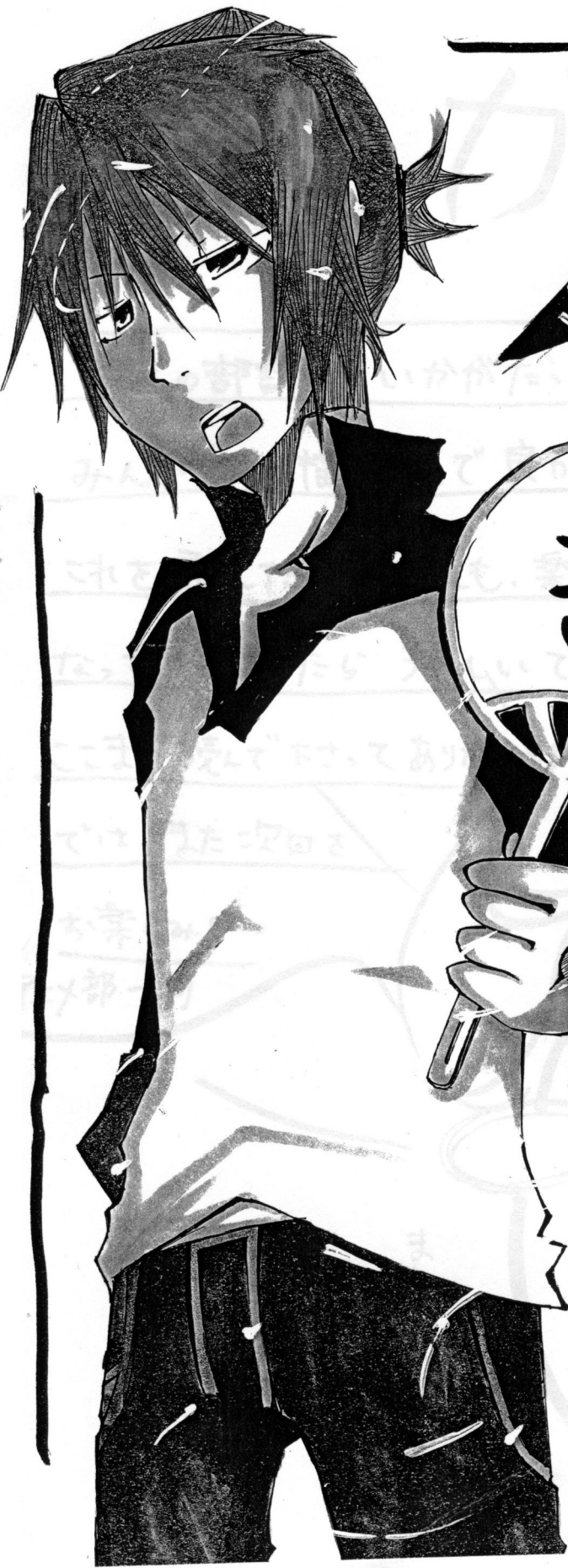
では、また次回を

楽しみに。

ア=x部一同

また筆ペン...





Thank
you!

H21
Jul.
(8th)